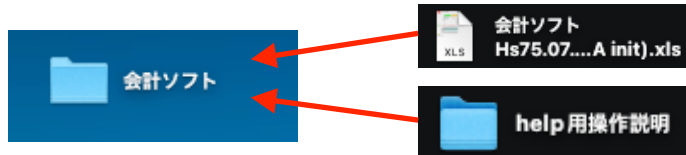


## 1.1 会計ソフトの立上げ

### (1) 会計ソフトを入れるフォルダを作成し ソフトをコピーする

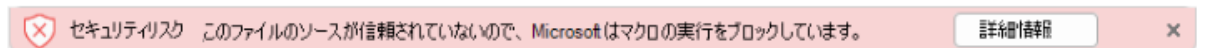
- ① デスクトップに「**会計ソフト**」を入れるフォルダを作成してください
- ② 圧縮ファイルを解凍し「**会計ソフト\*\*\*.xlsm**」と「**help用操作説明**」を「**会計ソフト**」のフォルダにコピーしてください

\* 「help用操作説明」には、help 機能で表示するための pdf ファイルが入っています



### (2) 会計ソフトを開く

- ① 会計ソフト Hs7\*.\*\*\*.\*\*\*(A init) のファイルをダブルクリックして開く  
ファイルの起動時に赤い警告バーで「セキュリティリスク」が表示される場合

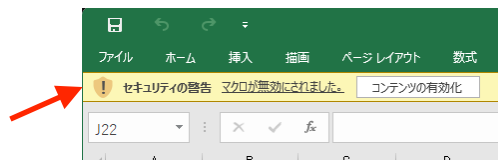


→ 添付ファイル「**1.a セキュリティリスクが表示される場合**」をご参照ください

- ② 「メッセージバーの表示」と「マクロの設定」について

#### 「メッセージバーの表示」

Excelを開いた時の、警告などがメッセージバーに表示されます



Excelの標準設定では、マクロを含んだソフトを使用するための設定ができていませんので、ZEN企画の「会計ソフト」を立ち上げた場合はメッセージバーに「**セキュリティの警告**」などが表示されます。

#### 「マクロの設定」

マクロを含んだファイルを実行する場合は、次ページ以降の「マクロの設定」を実行していただくことで、ソフトが実行できる環境が整い、マクロの設定に関するエラーも解消されます。

「**マクロの設定**」は、会計ソフトの実行に必須の条件になりますので初回のExcelファイルの動作確認前に、必ず実行していただくようお願いします。

## 1.2 マクロの設定

### (1) Excelの「マクロの設定」を行う

会計ソフトはマクロで動作しますので、Excelマクロの動作環境の設定が必要です

#### (1)-1 会計ソフトを開く

会計ソフト Hs7\*.\*\*\*.\*\*\*(A init) のファイルをダブルクリックして開く



#### (1)-2 ファイルが開いたら Excelの「マクロの設定」を行います

マクロの設定画面に移動します

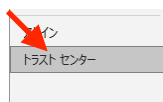
① Excel シートの 画面左上の「ファイル」タブをクリック



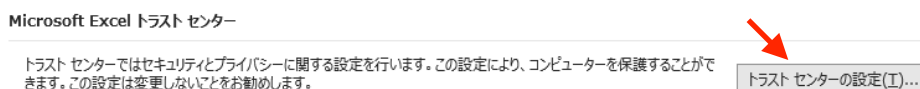
② 画面左下の「オプション」をクリック



③ ポップアップ画面の「トラストセンター」をクリック



④ ポップアップ画面の右中央の「トラストセンターの設定」をクリック



⑤ ポップアップ画面の左中央の「マクロの設定」をクリック



- ⑥ マクロの設定の「**すべてのマクロを有効にする**」を選択し  
開発者向けの**マクロの設定の「チェック」を「ON」**にする

マクロの設定

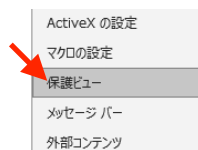
- ☐ 警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(L)  
☐ 警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)  
☐ デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする(G)  
☒ すべてのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E)

開発者向けのマクロ設定

- ☒ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(Y)

**\* 「すべてのマクロが有効」では、セキュリティが心配な場合は  
ページ5 の「1.4 信頼できる場所を登録する」の設定を行なってください**

- ⑦ ポップアップ画面左中央の「保護ビュー」をクリック



- ⑧保護ビューの「**チェックをすべてOFF**」にする

保護ビュー

保護ビューでは、セキュリティに関するメッセージを表示せずに、危険性のあるファイルを制限モードで開きます。これは、コンピューターへの悪影響を最小限に抑えるのに役立ちます。保護ビューを無効にすると、コンピューターがセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。

- ☐ インターネットから取得したファイルに対して、保護ビューを有効にする(I)  
☐ 安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護ビューを有効にする(L) (i)  
☐ Outlook の添付ファイルに対して、保護ビューを有効にする(O) (i)

信頼できないソースからのテキストベースのファイル (.csv、.dif、.sylk) を開くためのセキュリティ設定

- ☐ 信頼されたビューで常に信頼関係のないテキストベースのファイル (.csv、.dif、.sylk) を開く(I)

信頼できないソースからのデータベース ファイル (.dbf) を開くためのセキュリティ設定

- ☐ 信頼されていないデータベースファイル (.dbf) を常に保護ビューで開く(D)

- ⑨右下の「OK」をクリック



- ⑩ポップアップ画面の右上の「x」をクリックして、オプション画面を閉じます

**以上で「マクロの設定」は終了です**

**Excel の上書き保存を行い、一旦 ファイルを閉じます**



**ファイルを再起動して、ログイン動作を確認してください**

## 1.3 会計ソフトの動作確認

### (1) 会計ソフトを開いて動作を確認する

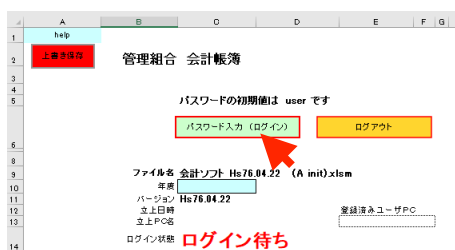
#### (1)-1 会計ソフトを開く

会計ソフト Hs7\*.\*\*.\*\*(A init) のファイルをダブルクリックして開く

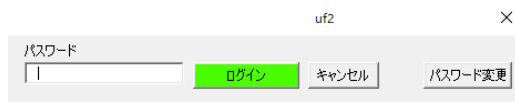


#### (1)-2 「ログイン」シートで 会計ソフトの動作を確認する

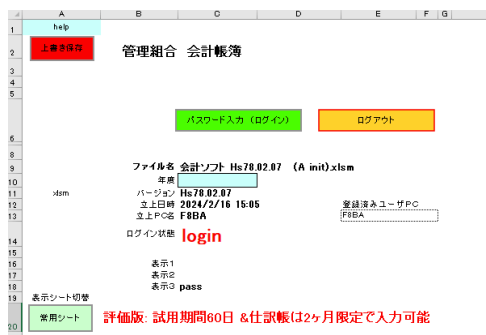
① 「ログイン」シートの「パスワード入力」をクリック



② ポップアップのパスワード入力が表示されるので  
パスワード（初期値は **user**）を入力し「ログイン」をクリック



③ ログイン待ちの表示が「**Login**」になれば動作はOKです



#### (1)-3 操作中に「エラー400」や「エラー1004」が表示される場合

操作説明「[1.b エラー 400 や 1004 が発生する場合](#)」をご確認ください

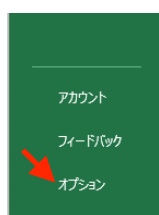
## 1.4 「信頼できる場所」を登録する

マクロの設定の「すべてのマクロを有効にする」の設定に不安がある場合は  
トラストセンターで「**信頼できる場所**」を登録してください

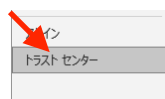
①画面左上の「ファイル」タブをクリック



②画面左下の「オプション」をクリック



③ポップアップ画面の「トラストセンター」をクリック



④ポップアップ画面の右中央の「トラストセンターの設定」をクリック

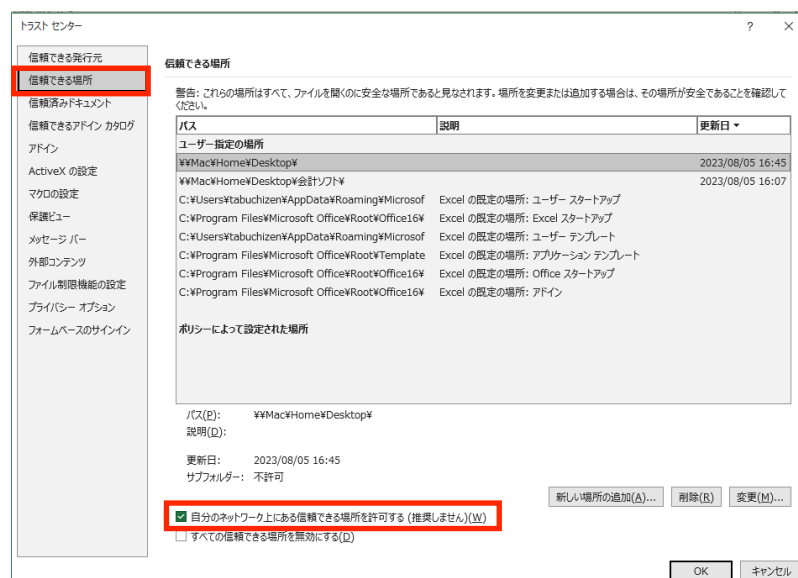
### Microsoft Excel トラストセンター

トラストセンターではセキュリティとプライバシーに関する設定を行います。この設定により、コンピューターを保護することができます。この設定は変更しないことをお勧めします。

トラストセンターの設定(I)...

⑤ポップアップ画面の左上の「信頼できる場所」をクリック

- (1) 「**自分のネットワーク上にある信頼できる場所を許可する**」を**チェック**する  
「**すべての信頼できる場所を無効にする**」の**チェックを外す**



## (2) 「新しい場所の追加」をクリックする

信頼できる場所の設定ポップアップが表示される

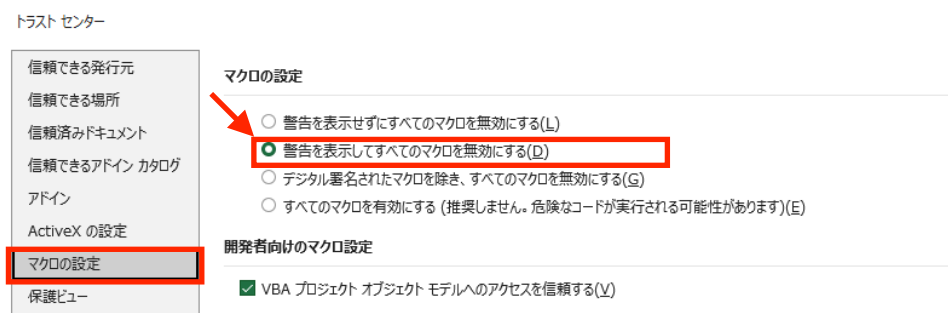
- 「参照」をクリックし「会計ソフト」のフォルダを選択する
  - 「この場所のサブホルダーも信頼する」にチェックを入れる
  - 「OK」をクリック
- ポップアップが閉じる



## (3) 「信頼できる場所」の設定の「OK」をクリック

## ⑦ 「トラストセンター」の「マクロの設定」を変更する

- 「マクロの設定」をクリック
- 「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」を選択する



■ 以上の設定で「信頼できる場所」のマクロのみが動作可能になりセキュリティが強化されます